



目次

- 巻頭言 『人はなぜ生きているのだろうか』
図書館長 飯山準一
- 『読書や映画で疑似体験』
- 『電子リソース 医療系映像教材のご紹介』
- 『コロナ禍でも続けた図書館イベント!』
- 『マイライブラリから電子ブック』
- 『選書ツアー』第10回
- お知らせ・編集後記

◆『人はなぜ生きているのだろうか』

図書館長（リハビリテーション学科教授） 飯山準一

どうやら私たちは、歴史の大きな転換期の渦中に生きているようです。この先、日本が、世界が、地球がどのように移ろうのか、誰も知りません。最早国家資格を取得すれば一生安泰という時代ではありません。これからの混迷の世界を生きるマニュアルもありません。

では、我々はどうすればいいのか。目まぐるしく変化する世の潮目を追うことに翻弄され疲弊することなく生き抜くためには、遠くを見つめることが大切です。命とは、生きるとは、お金とは、社会とは…、物事の本質を見つめることが大切です。

かつて大学生の私は、自らの病と向き合う中で「人はなぜ生きているのだろうか？」その意味を自問自答していました。納得いく答えが浮かばぬまま、やがて忙殺の日々を過ごし30年が経ちました。今の私の答えは、「人は存在するために生きる。」ということです。???と思われるかもしれませんが、存在することそのものが人の生きる目的と感ずるのです。自然の生き物を見ていると、今日を生き、明日を生きるためには本来必死でないと生きていけないものだと感じます。人類は生存可能性を高めるために、道具、言葉、文字、お金、そして社会と、様々なものを発明し、種の安全保障に成功しました。時代とともに社会基盤はより複雑化し、安定的生存が得られ、寿命も格段に延びました。しかしどんなに進歩しても、すべての問題がなくなるということはなく、常に我々には新たな壁が課されます。

暗い夜道は不安ですが、じっと目を凝らして見ていると、暗さに慣れ少しずつ見えなかった世界が見えてきます。この混沌の中でも、慌てずに、落ち着いて、じっと観察する、考えることが大切です。一方で無から有は生じません。考えるためには、その材料が必要です。

“患者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ”の言葉を辿ると、鉄血宰相ビスマルクですが、図書館はまさに、歴史の倉庫、教科書的な歴史だけではなく過去に出版された諸々の情報の集積場所です。それもインターネットのように垂れ流しの情報ではありません。時を超え生き残った貴重な情報です。本学の四綱領、知識、技術、思慮、仁愛について先人、先達が書き残したこれらすべてが図書館には詰まっています。蔵書の静寂と香りの中で、心静かに考えてみてはどうでしょう。今の時代だからこそ見えてくるものがきっとあります。

◆読書や映画で疑似体験

コロナ禍では、通常のコミュニケーションがとりづらく、学生生活や実習もこれまでどおりではないので、不安をかかえている学生さんも多いでしょう。実体験ほどでは、ありませんが、図書や映像資料で、歴史や社会情勢、物事の考え方、人の心に触れ、感じてみましょう。そして、その時代や人々に思いを馳せてみるのも一つの体験です。

○先生方の「推薦図書」コーナーで体験!
医療系以外の文学作品や哲学・心理学・社会学等、幅広く推薦!

○「100 刷本」100 回以上増刷された
真のベストセラーを体験! 貴重な7冊!



○映像資料で体験!
医療系以外にも「イマジン」「ウエストサイド物語」から「いのちの食べ方」など社会派も。



◆電子リソース 医療系映像教材のご紹介



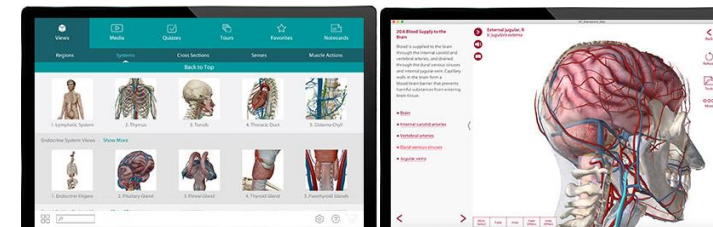
医学映像教育センターの映像配信システムです。インターネット環境があれば、解剖生理、医療、看護、リハ等73タイトルの映像コンテンツをパソコンやスマホ、タブレットで視聴することができ、複数のコンテンツの中からキーワード検索も可能です。遠隔授業にもご利用いただけます。AAA-Web フォルダ-図書館に詳細やID/PW を掲載しています。



丸善出版の映像教材配信サービスです。主に看護系の映像を配信しています。「看護技術」「地域看護」「神経内科学の検査技法」「実験動物の取り扱い」など8シリーズの映像をWEB上で視聴できます。AAA-Web フォルダ-図書館に詳細やID/PW を掲載しています。



Visible Body『Human Anatomy Atlas』は、人体の解剖学的構造を3Dであらゆる角度から見る事ができるアプリです。『Anatomy & Physiology』は、解剖学と生理学をアニメーションも使って解説。いずれも図書館ホームページからご利用いただけます。



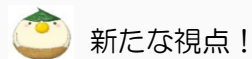
◆コロナ禍でも続けた図書館イベント！



『サイエンスカフェ』は、異分野の研究者同士のディスカッションや相談を気軽にできる場です。皆さまの発表・ご参加をお待ちしております。

- 第19回（6/29） 共通教育センター 伊吹唯先生 『移民と日本、移民と熊本、移民と医療』
案内文から抜粋

日本も熊本県も移民とは深い関係があり、その歴史も決して最近のことではありません。また、日本に暮らす移民の数は年々増加しています。移民の高齢化も始まり、医療や介護の現場もはや無関係ではありません。



- 第20回（10/19） リハビリテーション学科 生活機能療法学専攻 松尾崇史先生 『プリズム順応を用いたリハビリテーションの可能性』

聴講者参加による実験も行われました。



- 第21回（11/30） 生物毒素・抗毒素共同研究講座
大学院2年 志多田千恵さん 『忘れられている破傷風』

○次回（第22回）は4/28開催予定 乞うご期待ください！

◆『私の部屋でランチを』2021年度 第43～第50回までを振り返ります

コロナ禍で中断していた『私の部屋でランチを』は、開催方法を見直し、キャンパステラス会場参加者を30名に限定し、Zoomでのリアルタイム配信を加え、約1年半振りに再開しました。

- 第43回（5/13）、第44回（6/17）、45回（7/8）、47回（10/21）、49回（12/16）
理事長 木下統晴『大学入学から52年、そしてOH!120』PART I～PART V



どんな時にも前向きにチャレンジ！

- 第46回（7/20） 助産別科 学生4名 『ライフプランと妊娠・出産』
- 第48回（11/18） キャリア教育研修センター認定看護師教育課程 脳卒中看護分野 杉本智波先生
『ユマニチュード「心地よさ」を届けるケア技術』



案内文から抜粋

慣れない環境の中で病と闘う入院生活で届けられる「心地よさ」は回復を支えるためにとても重要です。ユマニチュードを知り、その技術について考えてみませんか。

- 第50回（12/21） 助産別科 学生5名 『すべての人が自分らしく学べる大学生活をめざして』
性の多様性についてみんなで考えてみませんか？

○次回（第51回）は4/28開催予定 乞うご期待ください！

◆マイライブラリーから電子ブック利用できます！

マイライブラリーにログインすると、学外（自宅PCやスマホ）から電子ブックを読むことができます。
利用方法 図書館HP → マイライブラリーにログイン → 電子ブック → リンク先（Maruzen、EBSCO、KinoDen）それぞれ検索して閲覧できます。

マイライブラリーログインはこちら

ログイン名：学生番号（数字7桁）
パスワード：AAAと同じ

★ 電子ブック

[Maruzen eBook Library](#)
[EBSCO eBook Collection](#)
[KinoDen](#)

注意事項

- ・同じタイトルの資料への同時アクセス数は「1」です。
- ・KinoDen はiOS 端末では正常に認証されません。

◆第10回学生選書ツアー！報告

第10回は2021年11月27日（土）学部生2名、教職員7名の参加で午前10時から90分間、市内の書店で実施し、243冊が選書されました。選んだ本は、選書コメントを付けて、学生選書コーナーに展示中です！



◆文献検索講義演習

4月は、基礎セミナーや各学科、別科で講義演習を行いました。また、館内でもミニ講習会を随時開催しています。どうぞご参加ください。

◆お知らせ

1. 4/20 現在の開館時間は、閲覧室 8:50-19:00 キャンパステラス 9:00-17:00
休館日は、土・日・祝日。変更は、AAA 等でお知らせします。
2. グループ学習室 1.2 は利用できませんが、キャンパステラスは、指定のルールに従い、ご利用いただけます。（4/20 現在）
3. 図書の貸出期間は、コロナ禍では、2週間ですが、学外実習等の場合は延長します。お申し出ください。

○図書館専用LINEでは図書館の最新情報をお知らせします。



○編集後記

学生さんで賑わう（黙利用）図書館は、2年ぶりです。制約がある中ですが、大いにご利用ください。電子資料も含めリクエスト、お待ちしております。

